

K 120.41

26.1

1

150

694

濱田千雄編

生徒  
卷 壹

K

高等筆算新書  
小學

鶴野書店出版

濱田千雄編

生徒用  
卷壹



高等  
小學  
筆算新書

鶴野書店出版

高等  
小學 筆算新書 生徒用

卷之壹

緒言

本書は高等小學校生徒用教科書に  
資用せられんことを目的として編  
纂せり

本書は本書の教授要項を記したる  
筆算教授要録に照し合せて教授せ  
られんことを教授者諸君に望む

目次

第壹編 整數

第一章	數の讀み書き	一丁
第二章	加法	五丁
第三章	減法	八丁
第四章	加減混合練習式題	一一丁
第五章	乘法	一二丁
第六章	除法	一五丁
第七章	乗除の簡法	一八丁
第八章	乗除混合式題	二三丁
第九章	檢算法	全丁

第十章 加減乗除混合式題 二五丁

第十一章 應用問題 二六丁

第二編 諸等數

第一章	諸等數の解	三九丁
第二章	諸等數の各種類	三一丁
第三章	諸等數の通法及命法	四四丁
第四章	諸等數の加減乗除	五八丁
第五章	諸等數雜題	七二丁

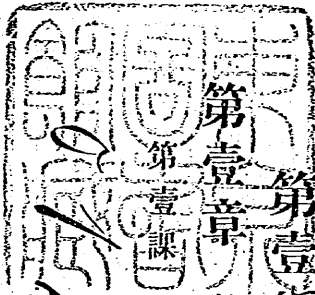
高等  
小學  
筆算新書  
生徒用卷壹

濱田千雄編

第壹編 整數

第壹章 數の讀み書き

第壹課 算用數字



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

第貳課 記數問題

次に掲げたる數を算用數字にて記せ

二 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九  
 二十一 二十六 二十七 二十二 三十九 三十  
 四十五 五十八 六十三 七十二 八十九 九十  
 九十六 七十七 五十四  
 百 百一 百四 百十 百三十 百二十五 百九  
 百四十九 二百 二百三十五 三百七十六 四百  
 五百二十八 六百七十 八百三 五百七十三  
 千百十一 千一 千五十一 千十 千二百三十六  
 千七十 二千四百六十五 三千九 四千六百十八  
 五千二百三十六 七千九 八千七百 六千五十四  
 九千二百九十八

一万五千 三万 四万六千二百七十五 四万八百

第三課 讀數法

(一) 數位表

數 位 表

十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一
十	位の	一
百	位の	一
千	位の	一
万	位の	一

右の算用數字にて記したる數を數位に従ふて讀めハ  
 三 次の如し

四

十一兆千百十一億千百十一万千百十一

(二) 次に掲げたる數を讀み且つ日本數字に書き換へよ

- (1) 53 (2) 40 (3) 21 (4) 35 (5) 63 (6) 10 (7) 82
- (8) 91 (9) 63 (10) 27 (11) 30 (12) 66 (13) 56
- (14) 280 (15) 645 (16) 932 (17) 864 (18) 285
- (19) 600 (20) 720 (21) 364 (22) 400 (23) 304
- (24) 5238 (25) 6762 (26) 8000 (27) 9645
- (28) 2045 (29) 4500 (30) 3921 (31) 4504
- (32) 2380 (33) 4959 (34) 58980 (35) 64020
- (36) 76000 (37) 28006 (38) 62050 (39) 90348
- (40) 238275 (41) 485279 (42) 606827

## 第二章 加法

### 第一課 運算法及用語

(一) 運算法

例題(一)二と三との合計を問ふ

例題(二)六と七との合計を問ふ

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 2 \\ + 3 \\ \hline 5 \end{array} \qquad \begin{array}{r} \text{(二)} \\ 6 \\ + 7 \\ \hline 13 \end{array}$$

(二) 用語

(一)二ツ以上の數につきて如何に計算すべきかを示したるものを算式といふ

五



例

- (一) 3+4
- (二) 5+6

(二)(+)の相加ふべきことを示す記號なり加號といふ  
 (三)或數と或數との相均しきことを示す記號(=)を均號といふ

例

- (一) 3 = 3
- (二) 3+2=5
- (三) 4+2=5+1

(四)加へて得たる數を和といふ

例 (一) 
$$\begin{array}{r} 3 \\ + 4 \\ \hline 7 \end{array}$$
 和

(二) 
$$\begin{array}{r} 8 \\ + 5 \\ \hline 13 \end{array}$$
 和

### 第二課 加法問題

- (1) 7+5 (2) 8+9 (3) 6+8 (4) 7+4 (5) 3+6
- (6) 3+4+5 (7) 6+3+5 (8) 4+7+8+9+5
- (9) 6+2+5+8+7+6+4+3
- (10) 24+36 (11) 45+80 (12) 72+89+42
- (13) 52+37+08+59 (14) 62+88+60
- (15) 654+859 (16) 936+726+978
- (17) 894+215+684+593+626
- (18) 328564723+93812054236
- (19) 7436+35213+46321+96521
- (20) 74685+3246+12304508423

第三課 加法定義

二數以上衆數を合はせて一數となす法を加法といふ

第三章 減法

第一課 運算法及用語

(一) 運算法

例題(一)六より二を取り去らば残り幾何

例題(二)八より五を取り去らば残り幾何

$$\begin{array}{r} (一) \\ 6 \\ - 2 \\ \hline 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (二) \\ 8 \\ - 5 \\ \hline 3 \end{array}$$

(二) 用語

(一) 或數より或他の數を取り去るべきことを示す記號なり減號といふ

(二) 取り去るべき數を減數といふ

(三) 取り去らるべき數を被減數といふ

(四) 取り去りて残りたる數を殘數又ハ差といふ

$$\begin{array}{r} 4 \quad 7 \\ \dots \text{減號} \\ 7 \quad \text{被減數} \\ - 4 \quad \text{減數} \\ \hline 3 \quad \text{殘數又ハ差} \end{array}$$

第二課 減法練習

- (1) 45—32      (2) 68—46      (3) 97—68  
 (4) 82—58      (5) 70—67      (6) 38—29  
 (7) 538—324    (8) 469—327    (9) 952—431  
 (10) 632—325    (11) 895—468    (12) 768—469  
 (13) 672—598    (14) 1000—999    (15) 1000—837  
 (16) 40256—2763    (17) 8723—6531  
 (18) 6780—3261    (19) 8006—5943  
 (20) 7845—6008    (21) 4320—2058  
 (22) 43258—22223    (23) 98528—723

第三課 減法定義

多數より少數を取り去りて其殘數を求むる法を減法

とす

第四章 加減混合練習式題

- (一) 35+42—63      (二) 58—34+98  
 (三) 78—34+23+52    (四) 796+2351—842  
 (五) 658—236+755    (六) 2467—856+7238  
 (七) 9054—6233—228    (八) 5426+4362—3642  
 +756      (九) 28425+36785—42364—2232  
 (十) 276424—36425—3689+185649

## 第五章 乘法

### 第一課 運算法及用語

#### (一) 運算法

例題(一) 二の三倍の幾何

例題(二) 四の六倍の幾何

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 3 \\ \hline 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 6 \\ \hline 24 \end{array}$$

#### (二) 用語

(一) (×)の或數を或他の數だけ倍すべきことを示す記號なり乘號といふ

(二) 倍すべき數を乘數といふ

(三) 倍せらるべき數を被乘數といふ

(四) 倍して得たる數を積といふ

$$7 \times 3$$

……乘號

$$\begin{array}{r} 8 \text{---被乘數} \\ \times 4 \text{---乘數} \\ \hline 32 \\ \text{---積} \end{array}$$

### 第二課 乘法練習

- (1) 23 × 4    (2) 58 × 6    (3) 76 × 5    (4) 93 × 8  
 (5) 62 × 3    (6) 75 × 7    (7) 64 × 9    (8) 384 × 3  
 (9) 4586 × 4    (10) 39486 × 7    (11) 538492 × 7

四一

- (12) 86976543 × 6    (13) 58 × 32    (14) 34 × 26
- (15) 84 × 23    (16) 543 × 36    (17) 7492 × 56
- (18) 6345 × 48    (19) 4236 × 75    (20) 9276 × 73
- (21) 53142 × 62    (22) 324 × 158    (23) 684 × 253
- (24) 8492 × 634    (25) 5364 × 459    (26) 16423 × 368
- (27) 92785 × 623    (28) 8945 × 6385    (29) 4326 × 5942
- (30) 63452 × 8213    (31) 12345 × 12345
- (32) 234567 × 8765    (33) 976542 × 32145
- (34) 865394 × 22354    (35) 8865421 × 3245865
- (36) 348654236 × 213456

### 第三課 乘法定義

同じ数を寄せ合はする加法の便法と乘法といふ

## 第六章 除法

### 第一課 運算法及用語

(一) 運算法

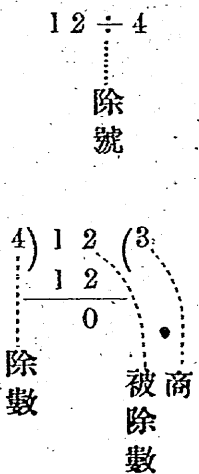
例題(一) 八の中に二を幾つ含めるか

例題(二) 六の三の幾倍に當るか

$$\begin{array}{r} 8 \div 2 \quad (4) \\ \underline{8} \\ 0 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 6 \div 3 \quad (2) \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

六一 (二) 用語

- (一) (÷) の或數を或他の數にて除すべしことを示す記號なり除號といふ
- (二) 除する數を除數といふ
- (三) 除せらるゝ數を被除數といふ
- (四) 除して得たる數を商といふ



第二課 除法練習式題

- (1) 81 ÷ 3    (2) 70 ÷ 2    (3) 90 ÷ 5    (4) 72 ÷ 6    (5) 88 ÷ 8
- (6) 91 ÷ 7    (7) 92 ÷ 4    (8) 126 ÷ 4    (9) 192 ÷ 8
- (10) 245 ÷ 7    (11) 9369 ÷ 3    (12) 825468 ÷ 6
- (13) 67897629 ÷ 9    (14) 2685 ÷ 19    (15) 3816 ÷ 18
- (16) 147825 ÷ 45    (17) 259284 ÷ 34    (18) 70331 ÷ 53
- (19) 93625 ÷ 25    (20) 791622 ÷ 78    (21) 482
- 328 ÷ 154    (22) 79165226 ÷ 238    (23) 18746640
- ÷ 162    (24) 43567200 ÷ 216    (25) 168725 ÷ 425
- (26) 15914304 ÷ 576    (27) 7 ÷ 3    (28) 14 ÷ 4
- (29) 25 ÷ 7    (30) 126 ÷ 5    (31) 346 ÷ 15    (32) 792 ÷

$$25 \quad (33) 3245 \div 231 \quad (34) 956782 \div 237 \quad (35) 0$$

$$86869 \div 364$$

第三課 除法定義

- (一) 或數の内に或他の數を幾倍含めるかを見る法を除法といふ
- (二) 或數を或他の數だけに等分する法を除法といふ

第七章 乗除の簡法

第一課 乗法の簡法

- (一) 乘數の末位に零あるときハ其零を取り除きて乗ト然して得たる積の末端に其零を添へて答とすべし

例

$$43 \times 200$$

$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 2 \\ \hline 86 \end{array}$$

答 8600

(二) 被乘數の末位に零あるときも又前に同じ

例

$$63000 \times 5$$

$$\begin{array}{r} 63 \\ \times 5 \\ \hline 315 \end{array}$$

答 315000

- (三) 乘數の中位に零あるときハ之を被乘數の各位に乘せず直に其下に降すべし

例  
 $834 \times 504$

$$\begin{array}{r} 834 \\ \times 504 \\ \hline 3336 \\ \phantom{3336}0 \\ \hline 4170 \\ \hline 420336 \dots \text{答} \end{array}$$

(四) 乗数が被乗数より大なるときハ之を反對に乘せ  
 べし

例  
 $3 \times 48$

$$\begin{array}{r} 48 \\ \times 3 \\ \hline 144 \end{array}$$

答  
 144

第二課 除法の簡法

(一) 除數と被除數との末位に同數の零あるときハ双方  
 の零を切り捨てたる後通常の除法を施すべし

例  
 $4800 \div 400$

$$\begin{array}{r} 48 \quad (12) \\ 4 \overline{) 48} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$$

答  
 12

(二) 除數の末位に有する零の數に均しく被乘數の末位  
 に零を有せざる時或ハ全く之を有せざる時ハ除數  
 の末位の零を取り去ると同時に其と同位の數を被  
 除數の末位に於て取り去りて後通常の除法を施す  
 べし



二

(一) 取り去りし数のみ残数となる場合

$$5680 \div 400$$

$$\begin{array}{r}
 4 \overline{) 5680} \quad (14) \\
 \underline{4} \phantom{00} \\
 16 \phantom{0} \\
 \underline{16} \\
 0
 \end{array}$$

答 14 と残り 80

(二) 取り去りし数と其他にも残数ある場合

$$7320 \div 300$$

$$\begin{array}{r}
 3 \overline{) 7320} \quad (24) \\
 \underline{6} \phantom{00} \\
 13 \phantom{0} \\
 \underline{12} \\
 1
 \end{array}$$

答 24 と残り 120

## 第八章 乗除混合式題

- (一)  $88 \times 6 + 4$  (二)  $875 + 35 \times 43$  (三)  $8948 + 6 \times 23$   
 (四)  $3976 \times 235 \times 35$  (五)  $832464 \div 8 \times 36$  (六)  $93$   
 $28 + 62 \times 87$  (七)  $5 \times 8 \times 2 \times 93$  (八)  $53 \times 62 \times 3 +$   
 $84$  (九)  $9382 + 56 \times 85 + 5$  (十)  $624 + 7 \times 8 + 3$

## 第九章 検算法

運算に誤りなきかを検査する法を検算法といふ

第一課 加法の検算法

順序反對に相加へて其答數初め加へしときと同一なるときハ正なり

三二

例

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 8 \\ \hline 12 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 8 \\ \hline 12 \end{array}$$

第二課 減法の檢算法

減數に差を加へて其和被減數に均しきときハ正なり

例

$$\begin{array}{r} 7 \\ - 3 \\ \hline 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \\ + 4 \\ \hline 7 \end{array}$$

第三課 乘法の檢算法

乘數と被乘數とを顛倒して相乘じ其積初めと同一なるときハ正なり

第四課 除法の檢算法

除數に商を乘じたる積被除數に均しきときハ正なり

例

$$\begin{array}{r} 85 \\ 5 \\ \hline 35 \\ 35 \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 17 \\ \times 5 \\ \hline 85 \end{array}$$

第十章 加減乘除混合式題

- (1)  $58 \times 23 + 45 - 62 \div 4$
- (2)  $85 \div 3 \times 43 - 6 + 8$
- (3)  $7423 + 572 - 327 \times 5362 \div 45$
- (4)  $6327$
- (5)  $42358 \times 65 \div 328$
- (6)  $9246 \times 864 \div 35 + 46$
- (7)  $35423645 \div 62 \times 456 - 2482 +$
- (8)  $425 - 2341$

32684 (9)593468 X 23 + 354 - 212 + 684

(3)532 + 485 X 62 X 31 + 845 (10)39 - 21 + 856

+ 436 X 27 + 862

### 第十一章 應用問題

- (一) 墨拾八挺と二拾六挺とあり此内より三拾三挺を賣らば残りの幾挺
- (二) 或港に行きしに其港内に汽船十八艘帆船前船二十五艘和船五十八艘碇泊せるを見たり其總船數幾何
- (三) 或學校の生徒數ハ男生ハ二百五十八人にして女生ハ男生より九十七人少しと云ふ女生ハ幾人
- (四) 二百の鶏卵あり之を十四人にて等分せんとするに其内十八ハ既に腐敗せるを見出したり之を取り除きて残りを等分せば一人前幾何
- (五) 或村の戸數ハ二百七十五棟にして平均一棟に五人宛住めりと云ふ其村の人口如何
- (六) 魚釣る人あり此人の或日釣り上げたる魚數ハ午前ハ二十七尾午後ハ三十八尾にして其前日釣り上げた魚數よりハ十八尾少くありしと云ふ其前日釣り上げたりし魚數を問ふ
- (七) 或人の所有せる山にハ松の木四百五十九本杉の木六百二十三本檜七百三十五本あり杉ハ松より幾本多く檜ハ松及杉より幾本多きか

- 八二
- (ハ) 生徒八百六十七人あり之を三人宛の組に造り各組に算術の問題二題宛作らしめんとす算術問題總て幾何を得べきか
- (ニ) 柿六千七百八十五を二十三個の箱に均しく分ち入れたり一箱の中にある柿の數如何
- (ト) 梨の木三百五十二本あり平均一本に付梨の實二十五個を得るとして此の梨の實を貯へ置くべき箱を造らんとす平均一箱に梨の實四十四個宛入るとせば幾箱を造るべきか

## 第二編 諸等數

### 第壹章

諸等數の解

第一課 單名數及複名數

- (一) 數を以て事物の量を示したるものを數量と云ふ
- (二) 數量を表はせる數を名數と云ふ
- (三) 名數に單名數と複名數との二種あり
- 一ツの數量を表はすに只一ツの名目を用ひたる名數を單名數と云ひ二ツ以上の名目を用ひゆるものを複名數と云ふ

單名數の例

(名目) (用例)

個 石一個 柿八個 時計十二個

羽 鴨二羽 鳩二十六羽  
 匹 馬五匹 牛三百二十四匹  
 尾 鯉三尾 鯛八尾  
 人 男四人 女六十九人  
 挺 墨三挺 鋏二挺  
 册 作文書一册 修身書二册  
 枝 白紙五枚 障子三枚  
 本 筆十三本 杖五本  
 筋 手拭三筋 帶四筋  
 複名數の例

(名目)

(用例)

丈尺寸分 木綿三丈二尺八寸六分  
 里町間尺 山道五里十六町七間三尺  
 石斗升合 米十二石五斗六升三合  
 町段畝步 田地七町八段九畝二十五步  
 貫匁 茶二貫三百十六匁  
 圓錢匣 金五圓六拾參錢八匣  
 第二課 諸等數の定義

一ツの數量を表はすに二ツ以上の名目を用ひゆる名數即ち複名數を諸等數と云ふ

### 第二章

諸等數の各種類

第一課

貨幣

二三

(一) 物品の價を度るものにして物品の賣買に必要なものゝ貨幣と云ふ

(二) 貨幣ハ壹圓を單位として順次其十倍を以て拾圓百圓千圓と其位を十進し其百分ノ一を壹錢と云ひ其千分ノ一を壹厘と云ふ

(一) 貨幣

圓	錢	厘
1 = 100	1 = 1000	1 = 10

第二課 容量

(一) 物の多少を容量と云ふ  
 (二) 容量を度るにハ斛を用ふ  
 (三) 斛目ハ一石を單位として順次其十倍を以て十石百石千石と其位を十進し又順次其十分ノ一を以て斗石合と其位を十降す

三三

第三課 重量

(二) 目

石	斗	斛	合
1 = 10	1 = 100	1 = 1000	1 = 10000

- (一) 物の輕重を重量と云ふ
- (二) 重量を度るに秤を用ふ
- (三) 秤目は一貫目を以て單位として進し其千分の一を以て十貫目と云ふ
- (四) 重量を度るに斤稱を用ふることあり一斤は百六十目なり但し土地の習慣其他品物により百二十目等し

(三)

厘	分	目
1 = 100	10 = 1000	1 = 10000
斤	匁	目
1 = 160	1 = 1600	1 = 16000
貫	匁	目
1 = 1000		

第四課 度

- (一) 物の長短遠近を度といふ
  - (二) 度を度るに尺を用ふ
  - (三) 尺は一丈を單位として順次其十倍を以て十丈百丈千丈と其位を十進し又順次其十分ノ一を以て尺寸分と其位を十降す
  - (四) 尺度に二種あり曲尺鯨尺と云ふ
- 鯨尺の一尺ハ曲尺一尺二寸五分に等し  
 曲尺ハ主として工業に用ひ鯨尺ハ主として裁縫に用ふ

(四)

	丈	尺	寸	分	厘
	1	= 10	= 100	= 1000	= 10000
		1	= 10	= 100	= 1000
			1	= 10	= 100
				1	= 10

鯨尺	曲尺
尺	尺寸分
1	= 1 2 5

第五課 里法

- (一) 海陸の遠近を度る法を里法と云ふ
- (二) 陸里法は陸地の遠近を度る法にして一里を單位として其位を十進して十里百里と云ひ其三十六分の一を一町と云ひ一町の六十分の一を一間と云ふ一間は六尺なり
- (三) 海里法は海上の遠近を度る法にして十六町五十六間一尺強を以て一里とす



(五)

里 法			
	陸	里	
里	町	間	尺
1 =	36 =	2160 =	12960
	1 =	60 =	360
		1 =	6
海 里			
	里	町	間尺
1 =	1656	1	強

第六課 畝法

- (一) 地面の廣狹を度る法を畝法と云ふ
- (二) 畝法は一町を單位として其位を十進して十町百町と云ひ其十分ノ一を一段と云ひ一段の十分ノ一を一畝と云ひ一畝の十分ノ一を一步と云ふ一步は六尺四方面なり
- (三) 歩は又坪と云ふことあり屋敷地等を度るときに用ふ
- (四) 器物の面を度るには通例一平方寸等の名稱を用ふ一尺四方の面を一平方尺と云ひ一寸四方の面を一平方寸と云ふ一坪の面とは三十六平方尺の面を云ふ

ふ

(六) 畝 法

町	段	畝	步
1 =	10 =	100 =	3000
	1 =	10 =	300
		1 =	30

第七課 体積法

- (一) 物体の大小を度る法を体積法と云ふ
- (二) 一寸四角の体積を一立方寸と云ひ一尺四角の体積を一立方尺と云ひ三十六立方尺を一立方坪と云ふ一立方坪は六尺四角の体積なり

第八課 時法

- (一) 時の長短を度る法を時法と云ふ
- (二) 時は一年を單位として其位を十進して十年百年と云ひ之を十二の月と別つ一、三、五、七、八、十、十二の月は各三十一日より成る之を大の月と云ひ其他の月を小の月と云ふ平年は二月は二十八日より成れども潤年は二十九日より成り四六九十一の月は各三十

日より成る

一日の二十四分の一を一時と云ひ一時の六十分の一を一分と云ひ一分の六十分の一を一秒と云ふ一週は七日なり

(七)

時法

年 1 = 12 月

大の月 1 = 31 日 小の月 1 = 30 日

日 1 = 7 時

1 = 24 = 1440 = 86400 分 秒

1 = 60 = 3600 1 = 60

第九課 角度法

(一) (二)

一周の度を三百六十法を角度法と云ふ  
一角は三分の六十分の一を一度と云ふ  
一角を一分と云ふ六十分の一を一分と云ふ  
直角は一分の六十分の一を一分と云ふ  
直角は一分の六十分の一を一分と云ふ  
直角は一分の六十分の一を一分と云ふ

(八)

角度表

圓周 1 = 360 = 5400" = 324000"

1 = 60" = 3600"

1 = 60"

直角 1 = 90"

### 第三章

諸等數の通法及命法

#### 第一課 諸等數の通法

(一) 諸等數の通法といは諸等數を低き位の一名目の數となすの法を云ふ

(二) 諸等數の通法に二法あり左の如し

1. 十進數なる諸等數の通法

(算法)別に計算を施すに及ばず直に其數を低き位の一名目の數として讀み下すべし

(例題)(一)六丈八尺五寸六分を分數に化せよ

6丈8尺5寸6分

答 6856分

六千八百五十六分

(例題)(二)金四圓三十六錢八厘を厘數に化せよ

4圓36錢8厘

答 4368厘

四千三百六十八厘

(例題)(三)五貫七百六十五匁を匁數に化せよ

5貫368匁

答 5368匁

五千三百六十八匁

(例題)(四)八石七斗六升三合を合數に化せよ

8石7斗6升3合

答 8763合

八千七百六十三合

2. 十進數ならざる諸等數の通法

(算法)第一頂位の數を第二頂位の數に變下たるも

のを第二頂位の數に加ふ順次此法を施して終に求むる所の名目を有する數に至て已むべし

(例題) 二里十七町三十二間五尺を尺數に化せよ

2 1 6 3 2 5  
里 町 間 尺

(一) 
$$\begin{array}{r} 36 \\ 2 \\ \hline 72 + 17 = 89 \text{ 町} \end{array}$$

(二) 
$$\begin{array}{r} 60 \\ 89 \\ \hline 540 \\ 480 \\ \hline 5340 + 32 = 5372 \text{ 間} \end{array}$$

(四) 
$$\begin{array}{r} 60 \\ 5372 \\ \hline 120 \\ 420 \\ \hline 180 \\ 300 \\ \hline 322320 + 5 = 322325 \end{array}$$

答三十二万二千三百二十五尺

(例題) 三町二段三畝六歩を歩數に化せよ

3 2 3 6  
町 段 畝 歩

$$\begin{array}{r} 30 \\ 323 \\ \hline 90 \\ 960 \\ \hline 9690 + 6 = 9696 \text{ 歩} \end{array}$$

答九千六百九十六歩

(例題) 一年五ヶ月二十五日六時二十五分を分數

に化せよ

但し此五ヶ月の假りに三十日を一ヶ月とし

第二課 諸等數通法問題

2 直 角	3 度	15 分	6 秒
90			
2			
180 + 3 = 183 度			
	60		
	183		
	180		
	480		
	60		
	10980 + 15 = 10995 分		
	60		
	10995		
	300		
	540		
	540		
	600		
	659700 + 6 = 659706 秒		

答六十五万九千七百六秒

(例題)(四)二直角三度十五分六秒を秒數に化せよ

て算す

15 年	25 月	6 日	25 時	25 分
	12			
	1			
	12 + 5 = 17 月			
	30			
	17			
	210			
	30			
	510 + 25 = 535 日			
	24			
	535			
	12840 + 6 = 12846 時			
	60			
	12846			
	360			
	240			
	480			
	120			
	60			
	770760 + 25 = 770785 分			

答七十七万七百八十五分

- (1) 百五十六丈八尺五寸を寸數に化せよ
- (2) 三圓九拾八錢七厘を厘數に化せよ
- (3) 十五貫四百九十三匁を匁數に化せよ
- (4) 二十三石八斗六升四合を合數に化せよ
- (5) 三里十二町十七間三尺を尺數に化せよ
- (6) 七里三十四町十二間二尺を尺數に化せよ
- (7) 二十町七段八畝九歩を歩數に化せよ
- (8) 十五町三段九畝十二歩を歩數に化せよ
- (9) 二十四日十二時三十四分十五秒を秒數に化せよ
- (10) 五直角三十二度十二分五秒を秒數に化せよ

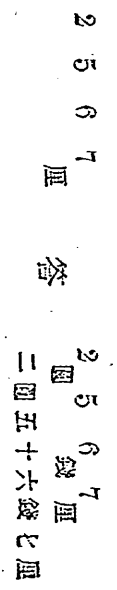
第三課 諸等數の命法

(一) 諸等數の命法といふ諸等數通法の反對の算法にして單名數の形にて示したる諸等數を複名數となすの法を云ふ

(二) 諸等數の命法に二法あり左の如し  
1. 十進數なる諸等數の命法

(算法)別に計算を施さず及びはす數の位に従て直に其數に複名を與ふべし

(例題) (一) 金二千五百六十七厘を複名數に化せよ



(例題) (二) 三千五百四十六分を複名數に化せよ

3 5 4 6 分  
3 尺 4 寸 6 分  
三 丈 五 尺 四 寸 六 分

(例題) 三 四千九百三十六匁を複名數に化せよ

4 9 3 6 匁  
4 匁 9 分 3 厘 6 絲  
四 匁 九 分 三 厘 六 絲

(例題) 四 七千三百六十八合を複名數に化せよ

7 3 6 8 合  
7 石 3 斗 6 升 8 合  
七 石 三 斗 六 升 八 合

2. 十進數ならざる諸等數の命法

(算法) 最下位より順次上位の數に化し行かば最後の高ハ最高位の名數にして各位の殘數ハ各

位の名數となる

(例題) 一 三十二万二千三百二十五尺を尺法に化せよ

答 二里十七町三十二間五尺

3 2 2 3 2 5 尺  
(一)  
6) 3 2 2 3 2 5 ( 5 3 7 2 間  
3 0  
—  
2 2  
1 8  
—  
4 3  
4 2  
—  
1 2  
1 2  
—  
0 5 尺

(二)  
60) 5 3 7 2 ( 8 9 町  
4 8 0  
—  
5 7 2  
5 4 0  
—  
3 2 町

(三) 間  
36) 8 9 ( 2 里  
7 2  
—  
1 7 町



(例題) 九千六百九十六歩を畝法に化せよ

$$\begin{array}{r}
 9696 \text{ 歩} \\
 (-) \\
 \hline
 30 \overline{) 9696} \begin{matrix} 323 \\ \text{畝} \end{matrix} \\
 \underline{90} \\
 69 \\
 \underline{60} \\
 96 \\
 \underline{90} \\
 6 \text{ 歩} \\
 (-) \\
 \hline
 3 \text{ 町} \quad 2 \text{ 段} \quad 3 \text{ 畝}
 \end{array}$$

答 三町二段三畝六歩

(例題) 三十七万七千八百八十五分を時法に化せよ  
且し一ヶ月の平均三十日として算すべし

(例題) 六十五万九千七百六秒を角度法に化せよ

答 一年五月二十五日六時二十五分

$$\begin{array}{r}
 770785 \text{ 分} \\
 (-) \\
 \hline
 60 \overline{) 770785} \begin{matrix} 12846 \\ \text{時} \end{matrix} \\
 \underline{60} \\
 170 \\
 \underline{120} \\
 507 \\
 \underline{480} \\
 278 \\
 \underline{240} \\
 385 \\
 \underline{360} \\
 25 \text{ 分} \\
 (-) \\
 \hline
 24 \overline{) 12846} \begin{matrix} 535 \\ \text{日} \end{matrix} \\
 \underline{120} \\
 84 \\
 \underline{72} \\
 126 \\
 \underline{120} \\
 6 \text{ 時} \\
 (-) \\
 \hline
 30 \overline{) 535} \begin{matrix} 17 \\ \text{日} \end{matrix} \\
 \underline{30} \\
 235 \\
 \underline{21} \\
 25 \text{ 日} \\
 (-) \\
 \hline
 12 \overline{) 17} \begin{matrix} 1 \\ \text{年} \end{matrix} \\
 \underline{12} \\
 5 \text{ 月}
 \end{array}$$

答二直角三度十五分六秒

$$\begin{array}{r}
 659706 \\
 60 \overline{) 659706} \quad (10995 \text{ 分}) \\
 \underline{597} \\
 540 \\
 \underline{570} \\
 54 \\
 \underline{306} \\
 300 \\
 \underline{\quad} \\
 6'' \text{ 秒}
 \end{array}$$
  

$$\begin{array}{r}
 60 \overline{) 10995} \quad (183 \text{ 度}) \\
 \underline{60} \\
 499 \\
 \underline{480} \\
 195 \\
 \underline{180} \\
 15'' \text{ 分}
 \end{array}$$
  

$$\begin{array}{r}
 90 \overline{) 183} \quad (2 \text{ 直角}) \\
 \underline{180} \\
 3 \text{ 度}
 \end{array}$$

第四課 諸等命法問題

- (1) 金一万二千五百六十二厘を複名數に化せよ
- (2) 長サ六千七百二十七分を複名數に化せよ
- (3) 八千九百七十五匁を複名數に化せよ
- (4) 二万六千七百八十三合を複名數に化せよ
- (5) 五十六万三千四百二十五尺を里法に從て化せよ
- (6) 八百九十二万一千六百四十八尺を里法に從て化せよ
- (7) 百五十九万七千二百二步を畝法に從て化せよ
- (8) 千十萬五千四十九步を畝法に從て化せよ
- (9) 九十五万三千七百二十四秒を角度法に從て化せよ
- (10) 五十万三千百七十三秒を角度法に從て化せよ

(11) 七十七万二千百七十三秒を時法に従て化せよ

### 第四章 諸等数の加減乗除

#### 第一課 諸等数加法

##### (一) 算法

(1) 十進なる諸等数の加法ハ尋常の加法と全く同じ  
(2) 十進をらざる諸等数の加法ハ左の如し

(一) 尋常加法の如く各数の位を揃へて列記すべし  
(二) 最下位の名数より順次に各名数を各別に相加  
ふべし

(三) 孰れの位の名数にて上位の名数に化するに  
足るべき数となるときハ上位の数に化して之

を上位の名数に加ふべし

##### (二) 例題

(一) 金三圓五十六錢八厘と二十五圓四拾九錢四厘と  
百三十五圓六十四錢八厘と二十七圓五十九錢七  
厘との合計を問ふ

九五

	厘	錢	圓
	8	5	3
	4	4	5
	8	6	5
	7	9	7
	7	4	2
	7	9	3
	7	0	2
	7	0	9
	7	0	1
	7	0	1

答百九十二圓三十錢七厘

〇六

(二) 田地四町三反八畝二十五歩と二町四反五畝十七歩と六反八畝七歩との合計を問ふ

4	3	8	2	5
2	4	5	1	7
	6	8		7
<hr/>				
6	13	21	4	9
+1	+2	+1		
<hr/>				
7	5	2	1	9

答七町五反二畝十九歩

第二課 諸等數加法問題

(一) 金六圓五十九錢八厘と二十七圓六十八錢七厘との合計を問ふ

(二) 五丈六尺三寸二分と七丈八尺九寸七分と二十九丈五尺七寸六分との合計を問ふ

(三) 十二石五斗三升六合と八石六斗五升八合と九十三石七斗八升六合との合計を問ふ

(四) 七町六反四畝十三歩と二町七反八畝八歩と十一町三反五畝十七歩と二町三反七畝二十二歩との合計を問ふ

(五) 十四町八反三畝十六歩と二十町五反九畝と五町四反二畝二十二歩と三反三畝二十七歩との總計如何

(六) 五里二町十五間二尺と二十七里十八町二十二間三尺と四里二十五町五十七間二尺と三十八里三十五

一六

- (七) 町十二間一尺との總計如何
- (八) 八里と五町五十間二尺と五十三里二十九町五十四間と十八里四町五間三尺との總計如何
- (九) 二ヶ月二十八日七時二十五分十八秒と二十日十時三十五分四十七秒と一ヶ月十日二十時三十三分四秒と二ヶ月十日十五時二十一分十八秒との總計如何
- (十) 三度二十七分十五秒と七度四十八分二十三秒と十五度十五分四十二秒との總計如何

第三課 諸等數減法

(一) 算法

- (1) 十進なる諸等數の減法は尋常の減法と全く同じ
- (2) 十進ならざる諸等數の減法は左の如く
  - (一) 尋常減法の如く兩數の位を揃へて列記すべし
  - (二) 最下位の名數より順次に各名數を別々に相減すべし
  - (三) 孰れの位の名數にて被減數加減數より小なりときは上位の名數より之を補ふべし

(二) 例題

- (一) 木綿三丈八尺五寸六分より二丈五尺七寸二分を減すれば殘數如何

寸	6
尺	5
丈	2
一	2

答一丈二尺八寸四分

(三) 九十三里二十五町四十八間五尺より六十四里三十  
二町四十四間三尺を減ざれば残數如何

尺	5	2	2
間	4	4	4
町	2	5	2
里	9	3	2
—	6	4	2
	2	8	

答二十八里二十九町四間二尺

第四課 請等數減法問題

- (一) 二十五丈六尺より十七丈二尺三寸八分を減せよ
- (二) 六十五圓四十八錢五厘より四十八圓九十三錢四厘を減せよ
- (三) 百五十六石七斗三升二合より八十七石六斗五升九合を減せよ
- (四) 四十七里二十二町十八間二尺より二十二里三十二町二十間五尺を減せよ
- (五) 九十三里二十一町四尺より八十里三十一町五十九間二尺を減せよ
- (六) 五町六反八畝二十八步より三町二反七畝十八步を減せよ

減せよ

- (b) 三十町二反七畝三步より十五町六反四畝二十七歩を減せよ
- (ハ) 三十週二日三時二十五分四十二秒より二十七週五日十二時十九分五十秒を減せよ
- (ニ) 六十七度二十五分五十五秒より四十五度三十八分四十五秒を減せよ

第五課 諸等數乘法

(一) 算法

- (1) 十進なる諸等數の乘法は尋常の乘法と全く同じ
- (2) 十進をらざる諸等數の算法は左の如し

(一) 尋常の乘法の如く數を列記すべし

(二) 最下位の名數より順次各名數を各別に相乗すべし

(三) 孰れの位の名數の乘積にても上位の名數に化れるに足るべき數となりし時は之を上位の法數にて除し其高を上位の名數に加ふべし

(二) 例題

(一) 金五圓六十八錢四厘の八倍は幾何

$$\begin{array}{r}
 \text{厘} \quad 4 \\
 \text{錢} \quad 8 \\
 \text{圓} \quad 5 \\
 \hline
 4 \quad 4 \quad 4 \quad 7 \quad 2
 \end{array}$$

答四十四圓四十七錢二厘

(二) 五重六町十二間四尺の八倍は幾何

5	6	12	48
40	64	96	32
+1	+1	+5	
41	29	41	2

答四十一重二十九町四十一間と二尺

第六課 諸等數乘法問題

- (一) 金七圓三十九錢五厘の四倍は幾何
- (二) 七石三斗二升八合の五倍は幾何
- (三) 二丈五尺三寸二分の四倍は幾何
- (四) 八町九反七畝二十六歩の七倍は幾何
- (五) 四十二町三畝九歩の十二倍は幾何
- (六) 十二里四町四十五間三尺の六倍は幾何
- (七) 三十里十八町十九間四尺の十八倍は幾何
- (八) 二十五日十一時二十五分七秒の四倍は幾何
- (九) 十六度二十五分四十二秒の三倍は幾何

第七課 諸等數除法

(一) 算法

(1) 十進なる諸等數の除法は尋常の除法と全く相同

じ

(2) 十進ならざる諸等數の除法は左の如く



- (一) 尋常除法の如く數を列記すべし
- (二) 最上位の名數より順次に各名數を各別に除法を施すべし
- (三) 孰れの位の名數よても除して殘數あるときは之を次位の名數に化して次位に加へて後に次位に除法を施すべし

(二) 例題

(一) 三丈四尺五寸五分を五等分すれば其數は幾何

$$\begin{array}{r}
 \text{丈} \text{尺} \text{寸} \text{分} \\
 5 \overline{) 3455} \\
 \underline{15} \phantom{0} \\
 19 \phantom{0} \\
 \underline{15} \phantom{0} \\
 45 \\
 \underline{45} \\
 0
 \end{array}$$

答六尺九寸一分

(二) 八里二十一町十二間三尺を三等分すれば其答幾何

$$\begin{array}{r}
 \text{里} \quad \text{町} \quad \text{間} \quad \text{尺} \\
 3 \overline{) 821123} \\
 \underline{6} \phantom{0000} \\
 22 \phantom{000} \\
 \underline{21} \phantom{000} \\
 12 \phantom{00} \\
 \underline{12} \phantom{00} \\
 0 \phantom{00} \\
 33 \phantom{0} \\
 \underline{33} \phantom{0} \\
 0 \phantom{0} \\
 12 \\
 \underline{12} \\
 0
 \end{array}$$

答二里三十一町四間一尺

第八課 諸等數除法問題

- (一) 百三十六圓六十二錢八厘を九等分せよ
- (二) 五十三石七斗一升八合を六等分せよ
- (三) 十五丈六尺三寸八分を七等分せよ

二七

- (四) 三十九里二十九町四十五間二尺を七等分せよ
- (五) 十一里二十七町五十間四尺を八等分せよ
- (六) 二十五町八反六畝を四等分せよ
- (七) 七十二町四反八畝十八歩を二十七等分せよ
- (八) 十二週三日十八時一分五秒を五等分せよ
- (九) 四十五度二十一分十八秒を九等分せよ

### 第五章 諸等數雜題

- (一) 一舛の代八錢五厘の米三石六斗四舛の代金を問ふ
- (二) 毎日十一里二十六町五十四間宛歩まば二十三日の間には幾何の里程を歩み得べきか
- (三) 一人一日の食料を五合とすれば一人一ヶ年には幾

何の米を食すべきか

- (四) 晝の長サ十三時四十六分四十八秒なるときは夜の長サは幾何なるか
- (五) 或人三所の田地を有せり甲は五町七反二畝十八歩乙は三町二反七畝二十三歩丙は九町三反四畝八歩ありと云ふ此人の所有地合計幾何
- (六) 甲乙の工夫あり同一の仕事を爲せしに甲は五週四日十五時三十二分乙を仕上げ乙は七週五日九時四十二分十八秒に之を仕上げたりと云ふ甲は乙より幾日早く仕上げしるか
- (七) 百六十匁一斤にて砂糖五百六十八斤あり之を貫目

三七

答之部

四七

- に直さは幾何の目方となるか  
 (A) 金八圓四拾九錢九厘を以て一寸の代三厘の紐は幾  
 何の長さ買ひ得べきか

第一編 整數

第十一章 應用問題答

- (一) 一挺 (二) 百一艘 (三) 百六十一人 (四) 二十六 (五) 千三百七  
 十五人 (六) 八十三人 (七) 杉は松より百六十四本多く楢  
 は松より二百七十六本多く又杉より百十三本多し (八)  
 五百七十八題 (九) 二百九十五 (十) 二百箱

第二編 諸等數

第三章 諸等數の通法及命法

五七

第二課 諸等數通法問題答

- (一) 一万五千六百八十五寸 (二) 三千九百八十七厘 (三) 一万五千四百九十三匁 (四) 二万三千八百六十四合 (五) 四万三千三百五尺 (六) 十万三千三十四尺 (七) 六万二千三百四十九步 (八) 四万六千八百八十二步 (九) 二百一十一万八千八百五十五秒 (十) 百七十三万五千九百二十秒

第四課 諸等數命法問題答

- (一) 十二圓五十六錢二厘 (二) 六丈七尺二寸七分 (三) 八貫九百七十五匁 (四) 二十六石七斗八升三合 (五) 四十三里十七町四間一尺 (六) 六百八十八里十四町二十一間二尺 (七) 五百三十二町四反二步 (八) 三千三百六十八町三段四畝二十九步 (九) 二百六十四度五十五分二十四秒 (十) 百三十九度四十六分十三秒 (十一) 八日二十二時二十九分三十三秒

第四章

諸等數加減乘除

第二課 諸等數加法問題答

- (一) 三十四圓二十八錢五厘 (二) 四十三丈一尺五分 (三) 百十四石九斗七升八合 (四) 二十四町一反六畝 (五) 四十一町一反九畝五步 (六) 七十六里九町四十七間二尺 (七) 八十里三町四十九間五尺 (八) 七ヶ月十日五時五十五分二十七秒 (九) 二十六度三十一分二十秒

第四課 諸等數減法問題答

八七

- (一)八丈三尺六寸二分
- (二)十六圓五十五錢一厘
- (三)六十九石七舛三合
- (四)二十四里二十五町五十七間三尺
- (五)十二里二十五町一間二尺
- (六)二町四反一畝十步
- (七)十四町六反二畝六步
- (八)二週三日十五時五分五十二秒
- (九)二十一度四十七分十秒

第六課 諸等數乘法問題答

- (一)二十九圓五十八錢
- (二)三十六石六斗四舛
- (三)十丈一尺二寸八分
- (四)六十二町八反五畝二步
- (五)六百三十町四反九畝十五步
- (六)七十二里二十八町三十三間
- (七)五百四十九里五町五十四間
- (八)三ヶ月十二日二十一時四十分二十八秒
- (九)四十九度十七分六秒

第八課 諸等數除法問題答

- (一)十五圓十八錢
- (二)八石九斗五升三合
- (三)二丈二尺三寸四分
- (四)五里二十四町四十九間二尺
- (五)一里十六町五十八間五尺
- (六)六町四反六畝十五步
- (七)二町六反八畝十四步
- (八)二週三日十三時十四分十三秒
- (九)五度二分二十二秒

第五章

諸等數雜題答

九七

- (一)三十圓九十四錢
- (二)二百七十里六町四十二間
- (三)一石八斗二升五合
- (四)十時十三分十二秒
- (五)十八町三反四畝十九步
- (六)二週十八時十分十八秒
- (七)九十貫八百八十匁
- (八)二十八丈三尺三寸

10120.9

明治廿六年十一月二十日印刷  
全年十一月三十日發行

定價金拾參錢

著者 濱田干雄  
長崎縣長崎市本大工町三十四番戶

發行者 鶴野麟五郎  
長崎縣長崎市引地町廿八番戶

印刷者 城谷虎一  
長崎縣長崎市本大工町六十三番戶

印刷所 額川活版所  
長崎市引地町廿八番戶

發兌所

鶴野書店

# 鶴野書店發行書目

- ◎ 小學 珠算 新書 全四册 正價金拾貳錢 郵稅貳錢
- ◎ 初學 作文示要 全四册 正價金三、四、五、拾錢 郵稅貳錢
- ◎ 修身讀書 教授細目 正價金貳拾錢 郵稅貳錢
- ◎ 作文之部 近世善行錄 特別減價金拾五錢 郵稅貳錢
- ◎ 特別減價 小學算術教授法 正價金三拾錢 郵稅四錢
- ◎ 特別減價 家政治の枝折 特別減價金拾貳錢 郵稅貳錢
- ◎ 現今普通用日文 正價金貳拾錢 郵稅四錢
- ◎ 改 長崎縣地理小誌 正價金拾五錢 郵稅貳錢
- ◎ 正 長崎縣地理小誌字引 正價金拾錢 郵稅貳錢
- ◎ 全長崎縣暗射掛圖 正價金八拾五錢 郵稅貳錢
- ◎ 全長崎縣暗射指南譜 正價金拾五錢 郵稅貳錢
- ◎ 實地 長崎港精圖 正價金拾貳錢 郵稅貳錢

- ◎ 長崎縣治一斑 正價金貳拾五錢 郵稅四錢
- ◎ 寬政四年島原地變記 正價金三拾錢 郵稅四錢
- ◎ 高等 筆算新書 全四册 正價金拾三錢 郵稅貳錢
- ◎ 高等 筆算教授要錄 全二册 近刊
- ◎ 高等 珠算練習書 全一册 近刊
- ◎ 高等 祝日大祭日歌詞 全一册 正價金壹錢五厘 十册以上無稅不要
- ◎ 長崎 崎小史 全一册 正價金拾貳錢 郵稅貳錢
- ◎ 實用 外科全書 特別減價金壹圓五拾錢 郵稅六錢
- ◎ 醫學 受驗者必讀 各册 正價金六拾錢 郵稅六錢

右ノ外小學校教科書教師參考書醫術書等續々出版仕  
居候得共印刷中ニ付茲ニ之ヲ除ク

